

MARCH 14, 2019

Advancing Science,
Promoting Community,
Inspiring Hope



June 4 - 7, 2019

PROVISIONAL PROGRAM
& CALL FOR ABSTRACTS

Bringing the Parkinson's Community Together!

WPC俳句優勝者

A stick from found wood
Will snap without sighs, and yet
Bundled, builds a bridge
Nancy Picard (USA)

WPC 2019



目次

一般情報	3
プログラム概要	5
ウェルネス・ウェイ	6
プログラム	10
Day 0 -プレコンgresコース	10
Day 1 -2019年6月5日、水曜日	12
Day 2 -2019年6月6日、木曜日	14
Day 3 -2019年6月7日、金曜日	16
京都国際会館のフロアガイド	18
展示場のフロアガイド	20
京都観光マップ	22
登録	24

概要

WORLD PARKINSON COALITION® とは

World Parkinson Coalition は3年に1度開かれる世界パーキンソン病学会 (WPC) の運営母体です。2004年の発足以来パーキンソン病コミュニティの主導的役割を果たしてきました。WPCは、それまでばらばらに活動していたパーキンソン病の研究者、臨床医、患者の支援者、すなわちパーキンソン病コミュニティの全構成員をつなぐ場として、立上げ直後からそのリーダーシップが目立っています。

世界パーキンソン 病学会とは

世界パーキンソン病学会は、パーキンソン病に関連する最新の研究成果、治療実績、介護のあり方について話し合う国際会議です。会議には毎回、運動障害の専門家、内科医、神経科学者、神経科医、看護師、リハビリ専門家、介護者、患者の家族、そしてパーキンソン病患者が一堂に会し、この難病に対する治療法の発見を加速させ、最良の治療事例を発掘することを目的に協議を重ねています。

学会の対象者は?

パーキンソン病の研究者、患者の介護者、患者本人も含め、パーキンソン病に関わる全ての人を対象です。パーキンソン病コミュニティの変革のためには、関係各者が力を合わせる必要があります。WPCは、パーキンソン病界の世界的リーダーとの人脈を築く格好の機会となります。

WPCは患者参加型の会議です。毎回意思決定の場には必ず患者が立ち合い、神経科学者や臨床医と共にプログラムの作成や人選等に関わります。こうしたやり方を私たちは誇りにしています。

プログラム

WPCのプログラムでは、基礎研究、臨床ケア、パーキンソン病患者の生活など、幅広いトピックを扱います。セッションには様々な種類のものがあり、それぞれ対象者が異なりますが、参加者はどのセッションにも参加することができます。また、英語を苦手と感じられる日本人関係者のかたがおられても、できるだけ気軽にプログラムに参加することができるように、次の3通りの措置を講じます。

1. モーニングホットピックス、表彰式、全体会議ではヘッドフォンを介した同時通訳を利用できるようにします。
2. 全国パーキンソン病友の会および現地関係者と協力し、6月5日、6日、7日の午後のセッションでは日本語で様々なトピックを取り上げます。
3. 高橋良輔、服部信孝両教授が共同委員長を務める国内組織委員会の協力を得て、できるだけ多くのパワーポイントスライドを日本語に翻訳し、大切なメッセージが参加者に伝わるようになります。

日本語の最終プログラムは2018年に発表いたします。しばらくお待ちください。

概要

展示会、特別イベント、 ネットワーキング

参加者ならどなたでも展示会を見学することができます。関連製品やパーキンソン病研究の最前線に触れるまたない機会です。展示場にはWPCシアターを設け、連日、「技術とパーキンソン病」をテーマとしたトーク、ビデオコンペの入賞作の上映、Book Nookで取り扱う一部の書籍の著者を囲む会などを行います。

パーキー

アライグマのパーキーはWPCの公式マスコットです。登録期間中にパーキーをお買い上げいただくと、その売り上げが、若手臨床医や研究者、パーキンソン病患者がWPCに参加するためのWPC旅費助成プログラムに活かされます。パーキーの詳細については www.WherelsParky.org をご覧ください。パーキーが今世界のどこにいるのか、またこれまでどのような人たちに迎えられたのかが分かります。日本でもパーキーがたくさんの家庭に迎えられ、日本のパーキンソン病コミュニティと世界のパーキンソン病コミュニティの関係強化に一役買うことを願っています。

ウェルネスウェイ

あわただしいWPC期間中、学術的な話題はひとまず忘れてリラックスできるように、会場内の数か所にウェルネスウェイと名付けたオアシス空間をご用意します。どのスペースでも、自分自身をもっと労り、よりよい生活を送るために必要なツールを提供します。

リニューアルルーム

交流型セッションを数多く盛り込んだプログラムを提供します。気分を一新し、楽しい時間をお過ごしください。太極拳、ヨガ、ダンスに加え、歌やドラマ演奏などの音楽を楽しむセッションがあります。

ケアパートナーラウンジ

介護者同士が交流するための安全なスペースです。支援団体の集まりの場としても、また介護者を対象とした日々の正式な話し合いの場としても利用できます。日本人介護者の皆さんにも利用していただけるように、日本語を話せる専門家を配置します。

クワイエットルーム

休憩や瞑想のためのスペース、投薬効果が現れるまでの安静の場、あるいは礼拝の場などにも最適です。快適な座席と水をご用意します。



プログラム概要

	年6月4日 火曜日	年6月5日 水曜日	年6月6日 木曜日	年6月7日 金曜日
8:00 AM 9:00 AM		最新トピック	最新トピック	最新トピック
9:00 AM 9:15 AM		授賞式	授賞式	授賞式
9:30 AM 11:30 AM	プレコンgres コース コース1: 同時通訳によるプログラム コース5: 日本語によるプログラム	モーニング・セミナー	モーニング・セミナー	モーニング・セミナー
11:30 AM 1:30 PM		故ジェームス・パーキンソン記念特別講演 ランチ	ポスター発表 (展示掲示物紹介) 特別講演 ランチ	ポスター発表 (展示掲示物紹介) 特別講演 ランチ
1:30 PM 3:00 PM		故ジェームス・パーキンソン記念特別講演 休憩	故ジェームス・パーキンソン記念特別講演 休憩	故ジェームス・パーキンソン記念特別講演 休憩
3:30 PM 5:00 PM	ボディ・プログラム: 仲間との集い (4:00 - 5:30 PM)	故ジェームス・パーキンソン記念特別講演	故ジェームス・パーキンソン記念特別講演	故ジェームス・パーキンソン記念特別講演
5:15 PM 6:30 PM	開会式 (5:45 - 6:45 PM)	ポスター (展示掲示物) 発表 & 1日のまとめ	ポスター (展示掲示物) 発表 & 1日のまとめ	1日のまとめ 閉会の言葉とラッフル抽選
6:30 PM 9:00 PM	ウェルカムレセプション 歓迎会 (7:00 - 9:00 PM)	ネットワ交流会: 看護師、理学療法士、作業療法士、言語療法、ソーシャルワーカーなど (6:30 - 8:00 PM)	音楽とPDダンス ラウンジ (7:30 - 9:30 PM)	

言語



英語から日本語への同時通訳



日本語トラック



別途有料

ウェルネス・ウェイ(オアシス空間)

それぞれの部屋には日本語スタッフが配置されています。

Wellness Wayは4つのプログラムからなりたっています。1) 運動プログラム、2) マッサージプログラム、3) 休憩所、4) 介護者交流プログラム。このウェルネス・ウェイ空間では、自分の身体と向き合い、学ぶ事が出来る場所となっています。パーキンソン病患者、介護者、医療専門家に限らず、自分の身体に責任を持ちケアする必要があります。その手助けとなるように、WPCはこの4つのプログラムを用意しました。是非、このオアシス空間で身体を動かしたり、マッサージを受けたり、瞑想体験をしたり、またPDに関わる人々との新たな出会いをお楽しみください。

リニューアル・ルーム (運動プログラム)

身体を動かしたり大きな声を出したり出来る体験交流型の運動プログラムです。内容はヨガ、太極拳、アルゼンチンダンス、ダンス、ボカルトレーニング、ボクシング、有酸素運動やPD運動など、様々なクラスに参加出来ます。人数制限がありますので、当日それぞれ興味のあるクラスに事前登録してください。

場所: スワン・ルーム

時間: 6月5日-7日

8:00 AM-5:30 PM

プログラム: 8-9を参考下さい

マッサージ&レイキ (気功) ルーム

疲れた体をリラックスしてもらえよう、1人15分程の無料のマッサージ、またはレイキ(気功)を受ける事が出来ます。服を着たまの施術となりますので、着替えの心配はありません。人数に限りがありますので、当日部屋の外の事前登録の紙に名前の記入をお願いします。

場所: 103B

時間: 6月5日-7日

11:00 AM-5:00 PM

クワイエット・ルーム (休憩所)

薬を飲んだり、少し横になって身体を休めたり、瞑想体験も出来る、心も身体も落ち着かせるための場所になっています。

場所: C2

時間: 6月4日-7日

9:00 AM-6:00 PM

ケアパートナー・ラウンジ (介護者交流の場)

介護者同士が安心して話合える場所になっています。介護者同士の新たな出会いや、悩みなどの相談も出来ます。常時日本人スタッフが配置されていますので、お気軽にお立ちより下さい。

場所: C1

時間: TBD

プログラム: 10を参考下さい

ウェルネス・ウェイ(オアシス空間)

6月5日、水曜日

時間	活動項目	演者	説明
7:45 - 8:45 AM	ヨガ: "グラウンディング法"で落ち着いた心身の状態をつくる	アミンタ・セイント オンジ	椅子ヨガのクラスでは"グラウンディング法"や呼吸法を紹介します。これらの方法は、気持ち落ち着かせたり、自分の姿勢やバランス感覚を微妙に調節出来ることに気づかせてくれます。クラスの最後には短い瞑想の時間を設けています。(フットローラーとスタンドは選択出来ます。)
9:00 - 10:00 AM	ザ・ラウド・クラウド	ジェニファー・コーディー	グループで行う楽しくエネルギー溢れるボイストレーニングのクラスです。日々行えるスピークアウトプログラムにご参加下さい。
10:30 - 11:30 AM	ロックステディ・ボクシング: パーキンソン病にパンチ!	坂井美穂	アメリカ発!! 10年の実績をもつ、パーキンソン病に立ち向かうためのボクシングエクササイズ(打ち合いはありません。)ストレッチ、瞬発力、持久力、反射やコグニサイズを含んだ楽しいグループプログラムです。仲間とともに楽しく盛り上がりましょう!!
11:45 AM - 12:45 PM	ドーパフィット: パーキンソン病の為に高負荷インターバル運動 (PHITT) プログラム	チャッド・モイヤー	ドーパフィット: パーキンソン病の特徴に配慮された高負荷(心拍数をあげる)インターバルトレーニング(PHITT)。アメリカ発パーキンソン病患者の為に運動プログラムです。ボクシング、筋力トレーニング、有酸素運動、関節運動などを含んでいます。その効果を是非体験してください。
1:15 - 2:30 PM	ダンス・フォーPD	デイビット・レベンサー	世界的に有名なマークモリス・ダンスグループでも絶賛された研究データに基づく国際的ダンスプログラム。パーキンソン病患者・家族が楽しみながら効果を実感出来る内容です。ダンス経験は必要ありません。創始者のデイビット・レベンサー氏とスペシャルゲストを招いてのクラスは楽しく、創造的で刺激的。リフレッシュ出来る運動プログラムです。
3:00 - 4:00 PM	ザ・トライアド: 発声、動きと認知機能	ジョン・ディーン ジョセファ・ドミンゴス	ボイストレーニングとコグニサイズを兼ね備えた運動プログラムになっています。
4:30 - 5:30 PM	アダプテッド・タンゴクラス	マデリン・ハックニー	アルゼンチンタンゴを通して「自分の身体の動きを知る」ことができ、気分転換にもなります。このクラスでは、全身ウォーミングアップからペアでの練習、リズムに合わせて簡単なタンゴステップを楽しむことが出来ます。1人でも参加出来ますので、パートナーと一緒にする必要はありません。



ウェルネス・ウェイ(オアシス空間)

6月6日、木曜日			
時間	活動項目	演者	説明
8:30 - 9:30 AM	キープ・ムービング：パーキンソン病の為に太極拳	ミルコ・ローレンツ	パーキンソン病の方が続けることが出来るようにアレンジされた太極拳プログラムです。バランス改善、筋力強化、リラックス効果、集中力を養い、内面を落ち着かせることに有効です。
10:00 - 11:00 AM	マイティ・マエストロ	ジュディス・スペンサー	WPCコーラス担当のジュディスと一緒に歌いましょう！歌うことでボイストレーニングや筋肉のストレッチを楽しみながら行えます！
11:30 AM - 12:30 PM	ブレイン・オン・ダンス	ジョセファ・ドミンゴス	ブレイン・ダンス・フォーPDではコグニサイズ・やる気・楽しさを兼ね備えた運動プログラムです。ラテン音楽のリズムに合わせて楽しく動きましょう。
1:00 - 2:00 PM	PD ムーブメント・ラボ	パメラ・クイン	ダンスや実質的な動きを用いることで、出来ないと思っていた動きが出来るようになります。ここでは心と身体にチャレンジします。
2:30 - 3:30 PM	PD フィットネス	布袋田 沙織	バランスと体幹コントロール、手足の動き、関節の可動域、筋肉への刺激や認知機能コントロールなどに重点を置いています。どなたでも参加できます。音楽あり、笑いあいの楽しいプログラムです。
4:00 - 5:00 PM	ロックステディ・ボクシング：パーキンソン病にパンチ！	坂井 美穂	アメリカ発！！10年の実績をもつ、パーキンソン病に立ち向かう為のボクシングエクササイズ（打ち合いはありません。）ストレッチ、瞬発力、持久力、反射やコグニサイズを含んだ楽しいグループプログラムです。仲間とともに楽しく盛り上がりましょう！！

6月7日、金曜日			
時間	活動項目	演者	説明
8:30 - 9:30 AM	パーキンソン病の為に太極拳	白井 宣子	太極拳の基礎を学び、自分の心と身体を知ることで日々の生活での動きを良くしましょう。
9:45 - 10:45 AM	PD ムーブメント・ラボ	パメラ・クイン	ダンスや実質的な動きを用いることで、出来ないと思っていた動きが出来るようになります。ここでは心と身体にチャレンジします。
11:15 AM - 12:15 PM	PD フィットネス	布袋田 沙織	バランスと体幹コントロール、手足の動き、関節の可動域、筋肉への刺激や認知機能コントロールなどに重点を置いています。どなたでも参加できます。音楽あり、笑いあいの楽しいプログラムです。
12:45 - 2:00 PM	ダンス・フォーPD	デイビット・レベンサル	世界的に有名なマークモリス・ダンスグループでも絶賛された研究データに基づく国際的ダンスプログラム。パーキンソン病患者・家族が楽しみながら効果を実感出来る内容です。ダンス経験は必要ありません。創始者のデイビット・レベンサル氏とスペシャルゲストを招いてのクラスは楽しく、創造的で刺激的。リフレッシュ出来る運動プログラムです。
2:15 - 3:15 PM	ドーパフィット：パーキンソン病の為に高負荷インターバル運動 (PHITT) プログラム	チャッド・モイヤー	ドーパフィット：パーキンソン病の特徴に配慮された高負荷（心拍数をあげる）インターバルトレーニング (PHITT)。アメリカ発パーキンソン病患者の為に運動プログラムです。ボクシング、筋力トレーニング、有酸素運動、関節運動などを含んでいます。その効果を是非体験してください。
3:45 - 4:45 PM	ザ・トライアド：発声、動きと認知機能	ジョン・ディー ジョセファ・ドミンゴス	ボイストレーニングとコグニサイズを兼ね備えた運動プログラムになっています。

介護者の為の憩いの場

このラウンジは、パーキンソン病患者の家族や介護者の皆様にご参加いただけます。毎日9AMから5PMの時間はどなたでもご自由にご利用いただけます。このスペースで他の方々と話したり、リラックスしたりと気楽にご利用下さい。日本人スタッフが居ます。

6月5日、水曜日		
時間	活動項目	演者
9:30 - 10:30 AM	若年性パーキンソン病患者の家族・介護者の会：(英語のみ)	ケイト・マクドウェル (ニュージーランド) イレイン・ブック (カナダ)
11:00 AM - 12:00 PM	日本語サポートグループ：“仲間を作ろう (自由参加)”	植竹 日奈 山本 澄子
12:30 - 1:30 PM	英語サポートグループ：“仲間を作るユーザーサポートグループ (自由参加)”	イレイン・ブック (カナダ)
2:30 - 3:30 PM	無視するか、今後の計画を立てるのか…人生の分岐点での決断 (英語のみ)	リサ・カブスト (アメリカ)
4:00 - 4:30 PM	ビデオ鑑賞：介護者の日々 (日本語字幕付き)	

6月6日、木曜日		
時間	活動項目	演者
9:30 - 10:30 AM	診断されたばかりの介護者の会 (英語のみ)	シェリリー・ホーグ (カナダ) イレイン・ブック (カナダ)
11:00 AM - 12:00 PM	日本人の介護者カフェ	荻野 裕 花井 亜紀子
12:30 - 1:30 PM	英語サポートグループ：“仲間を作るユーザーサポートグループ (自由参加)”	リサ・カブスト (カナダ)
2:30 - 3:30 PM	日々のコミュニケーションの大切さ (英語のみ)	ゲイラ・ブラナー (イスラエル)
4:00 - 4:30 PM	ビデオ鑑賞：介護者の日々 (日本語字幕付き)	

6月7日、金曜日		
時間	活動項目	演者
9:30 - 10:30 AM	後期パーキンソン病患者の会 (英語のみ)	ジュリー・カーター (アメリカ)
11:00 AM - 12:00 PM	自由時間	英語：イレイン・ブック (カナダ) とリサ・カブスト (アメリカ) 日本語：植竹 日奈
12:30 - 1:30 PM	自由時間	
12:00 - 2:00 PM	研究論文ミーティング 招待者のみ	
2:30 - 3:30 PM	不安、無関心、うつ病や認知問題などへの対応 (英語のみ)	ルーシー・ラチャンス (カナダ)
4:00 - 4:30 PM	ビデオ鑑賞：介護者の日々 (日本語字幕付き)	

PROVISIONAL PROGRAM

2019年6月4日、火曜日

DAY



プレングレス — コース 1

PC1 - PDの基礎： 病気の流れ (CME)

対象： PWP, 介護人、パーキンソン病の介護の初心者

到達点： プログラムで詳述される重要な話題を参加者にしてもらおう。今後の予測とこの会を最大に活用する手段となるように。WPCの過去と同時にこの会の構成と成功に関わるPWPの役割を紹介する。

学習課題： 1. パーキンソン病の基礎的な理解、原因、症状、治療の研究も含めて、2. PDと診断されたあとのケアとリハビリの概要、3. PDの将来的治療の理解、4. WPCの経験を最大に生かす方法

PROGRAM

9:00 AM	歓迎式典	司会：	A.C. Woolnough (USA)
9:05 AM	提唱ピラミッド：患者の結束と交流	演者：	Soania Mathur (Canada)
9:30 AM	PDの原因	演者：	Barry Snow (New Zealand)
9:55 AM	PDの臨床症状	演者：	Shen Yang Lim (Malaysia)
10:20 AM	演者との質疑応答	司会： パネリスト：	Soania Mathur (Canada) Barry Snow (New Zealand) Shen Yang Lim (Malaysia)
10:35 AM	Pamelaと一緒に動こう		Pamela Quinn (USA)
10:45 AM	休憩		
11:15 AM	内服治療と外科治療のこれまで	演者：	Genko Oyama (Japan)
11:40 AM	最新の研究	演者：	Ryosuke Takahashi (Japan)
12:05 PM	質疑応答	司会： パネリスト：	Jon Stamford (UK) Ryosuke Takahashi (Japan) Genko Oyama (Japan)
12:20 PM	美穂と一緒に動こう		坂井 美穂
12:35 PM	昼食		
1:45 PM	PDと生きるためのヒントとテクニック、 内服治療のその先 ・会話と嚥下 ・バランスと歩行 ・栄養と便秘 ・認知機能訓練、生活をよくする工夫と自己管理 ・障害と向き合い、逆境を克服する：家族、仕事、結婚	司会： パネリスト：	A.C. Woolnough (USA) Hanneke Kalf (The Netherlands) Lynn Rochester (UK) Laurie Mischley (USA) Lissa Kapust (USA) Victor McConvey (Australia)
3:00 PM	休憩		
3:45 PM	診断を超えて立ち直る	演者：	Kat Hill (USA) Nancy Peate (USA)
4:15 PM	WPC2019の最大活用	演者：	Jon Stamford (UK)

開会式 > 5:45 — 6:45 PM

歓迎会：ウェルカムレセプション > 7:00 — 9:00 PM

PROVISIONAL PROGRAM

2019年6月4日、火曜日

DAY



プレングレス — コース 5

PC5 - 日本企業スポンサーセミナー (NON-CME)

対象： 医療関係者、このセッションはCME単位の対象にはなりません。

到達点： 現在製薬業界で働いている人やそれに関係する人のためのパーキンソン病の現状と科学、研究およびケアについてのフォーラム。

学習課題： 1. 世界中で行われている最新の研究や治療法をさらに知る事でパーキンソン病の理解をより深める；2. PD治療は複雑なため包括的なアプローチの必要性を理解し；3. パーキンソン病の今後の治療法を理解する；4. パーキンソン病患者の現状を知り今後更にどのような事が必要となるのかを明確にする。

PROGRAM

8:15 AM	TBD：未確定
9:45 AM	共催：アボット社
10:45 AM	休憩
11:15 AM	共催：エフピー株式会社
12:15 AM	ランチ
1:00 PM	共催：エーザイ株式会社
2:30 PM	共催：ノバルティス ファーマ株式会社
3:30 PM	休憩
4:00 PM	共催：協和発酵キリン株式会社

開会式 > 5:45 — 6:45 PM

歓迎会：ウェルカムレセプション > 7:00 — 9:00 PM

セッションのレベル

 クロス・トーク
初級：科学や医学の知識が余りなくても理解出来るレベル

中級：科学や医学の知識がある程度必要

上級：科学や医学の知識がないと理解出来ない

セッションの種類

基礎科学

臨床科学

総合ケア

言語

英語から日本語への同時通訳

日本語トラック

別途有料

PROVISIONAL PROGRAM

2019年6月5日、水曜日

DAY
1

最新トピック > 8:00 — 9:00 AM

TBD (based on submitted abstracts) : 未確定

アメリカン・パーキンソン病協会スポンサー

授賞式 > 9:00 — 9:30 AM

受賞者: TBA : 未確定

モーニングセミナー > 9:30 — 11:30 AM

WPL - PLENARY

αシヌクレインとパーキンソン病

司会: グレンダ・ホリデー (オーストラリア)
司会: サージ・プレゾドスキー (アメリカ)

議題1: αシヌクレインとは? 生物学
演者: ロナルド・メルキー (フランス)

議題2: 脳の献体から見るαシヌクレインの病理学
演者: ピーター・リーデラー

議題3: 治験に参加する重要性: 治療としてのデータだけではない患者の貢献度
演者: ソーニャ・マーサー (カナダ)

議題4: αシヌクレインをターゲットにした治験での効果
演者: ジェシー・シダーバム (アメリカ)

コース目標: 1. 脳内のA-シヌクレインの基本機能と余り知られていない働きについてを理解する; 2. Aシヌクレインがどのような条件下でパーキンソン病を起こすのか、また、PDや関連疾患において進行と共に、脳内でどのような変化が起こっているのかを理解する; 3. 治験においてAシヌクレインだけを標的とすることの難しさや、現在行われている治験について知る; 4. 治験に参加するだけでなく、治験において患者が果たす役割の重要性の説明

ランチ > 11:30 AM — 1:30 PM

故ジェームス・パーキンソン記念特別講演 > 12:00 — 1:00 PM

WSL - SPECIAL LECTURE

演者: ロジャー・バーカー (イギリス)

ミトコンドリア異常はパーキンソン病の病因なのか
司会: 水野美邦

日本のパーキンソン病研究の歴史: 過去、現在、未来
司会: 永津 俊治 (日本)

セッションのレベル

クロス・トーク
初級: 科学や医学の知識が余りなくても理解出来るレベル
中級: 科学や医学の知識がある程度必要
上級: 科学や医学の知識がないと理解出来ない

セッションの種類

基礎科学 臨床科学 総合ケア

言語

英語から日本語への同時通訳 日本語トラック

別途有り

PROVISIONAL PROGRAM

2019年6月5日、水曜日

DAY
1

日本語トラックプログラム
1:30 — 3:00 PM

JP1 -
司会: 渡辺宏久 (名古屋大学 脳とこころの研究センター)

テーマ: 最新のパーキンソン病の診断と治療

トーク1...パーキンソン病の新しい診断 (20分)
演者: 澤本伸克 (京都大学大学院医学研究科 教授)

トーク2...パーキンソン病の最新治療 (20分)
演者: 下 泰司 (順天堂大学脳神経内科)

質疑応答 (5分)

テーマ: それぞれの年齢や病期に応じた問題の解決と治療について

トーク3...若年患者の抱える問題とその対策 (20分)
演者: (広島国際大学看護学部 教授)

トーク4...病期や年齢に応じた患者との関わり方について (20分)
演者: 高橋裕秀 (みどり野リハビリテーション病院パーキンソン病治療センター センター長)

学習課題 1. DAT SCANをはじめとして近年PDの早期発見、早期治療につながる研究が行われている。実際にどれくらい早期診断が役にたつのか? 2. パーキンソン病の新しい治療について新薬の開発状況、発売の見込みなど、またそれぞれどのような人に有効か? 3. 若年患者は数が少ないが、社会生活上の問題、収入の問題、就業の問題、さらに妊娠・出産・育児など普通の高齢発症の場合とは異なった諸々の問題を抱えている。このような中で若年患者がより良く生きるためにはなにが必要か? 若年患者以外の人も一緒に考えるべき問題であると思われる。4. 介護者の関わり方、家でできるリハビリなど。病初期、進行期、さらに進むと、リハビリに求めるものは違うはず

3:30 — 5:00 PM

JP2 -
テーマ: DBS及びdevice aided therapy (パネルディスカッション)

司会: 高橋良輔 (京都大学大学院 医学研究科臨床神経学 教授)
服部信孝 (順天堂大学脳神経内科 教授)

演者: 梅村淳 (順天堂大学運動障害疾患病態研究治療講座) (15分)
戸田弘紀 (福井赤十字病院脳神経外科) (15分)
木村活生 (横浜市立大学附属市民総合医療センター神経内科) (15分)
大山彦光 (順天堂大学脳神経内科) (15分)
小倉眞一郎 (患者、全国パーキンソン病友の会神奈川県支部) (5分)
伊藤克義 (患者、全国パーキンソン病友の会京都府支部 支部長) (5分)

ディスカッション (20分)

学習課題 DBSは保険適応になって以来、PD治療に関してはかなり一般的な治療法となってきたが、患者の中には詳しい情報を知らずにDBSを選択し、後で後悔する例もある。
1. DBSによって改善される症状、改善されない症状、一時的に改善されるが長続きしない症状 2. DEVICEについて、患者は選択できるのか? 3. 手術を受けるに際して病院選びの基準は? 4. 痛み、姿勢、歩行、バランス、すくみ足、認知の問題 5. 非運動症状への効果 6. 家族として知っておくべきこと

WWU - パネリストによる本日のまとめ > 5:15 — 6:30 PM

演者: TBC : 未確定
パネリスト: ジェニファー・ゴールドマン (アメリカ)、アンジェラ・チェンシーニルソン (スウェーデン)、サラ・リガー (スウェーデン)、パオロ・カラブレシ (イタリア)、高橋良輔 (日本)

ラウンドディスカッション
1:30 — 3:00 PM

WRT1
アメリカン・パーキンソン病協会スポンサー

テーブル3*: 遺伝学的視点から見たパーキンソン病原因遺伝子LRRK2の機能に対する新たな見解.
マット・ファラー (カナダ)
通訳: 寺尾元

テーブル6*: (経頭蓋磁気刺激)を用いた治療法の効果と信頼性、今後の展望について
アンジェロ・クアトロネ (イタリア)
通訳: 石尾政直

テーブル7*: αシヌクレインとは何か—その生物学的特性
ロナルド・メルキー (フランス)
通訳: 内藤惇

テーブル12*: 患者と研究者 二つの世界はどうすれば手を取り合えるのか?
サイモン・ストット (イギリス)
A.C.ウールナフ (アメリカ)
通訳: 上戸壽

3:30 — 5:00 PM

WRT2
Adamasスポンサー

テーブル2*: パーキンソン病の認知機能を守る治療プログラム
武田 篤 (日本)

テーブル5*: 細胞移植治療の臨床応用
森実飛鳥 (日本)

テーブル6*: パーキンソン病 (PD) での選択的な神経細胞死における細胞の閾値の役割
デイビッド・サルザー (アメリカ合衆国)
通訳: 山下真弥

テーブル9*: パーキンソン病におけるAシヌクレインとそれに関わる免疫反応について
アシュリー・ハームズ (アメリカ)
通訳: 喜多村恭平

テーブル12*: ジスキネジアへの対応
富山誠彦 (日本)

* マークには日本語でのサポートあり


PROVISIONAL PROGRAM

2019年6月6日、木曜日

DAY
2

最新トピック > 8:00 — 9:00 AM

TBD (based on submitted abstracts) : 未確定

アメリカン・パーキンソン病協会スポンサー 

授賞式 > 9:00 — 9:30 AM

受賞者: TBA : 未確定

モーニングセミナー > 9:30 — 11:30 AM

TPL - PLENARY

オーダーメイド医療へと向かっているのか?

司会: エティエン・ヒルシュ (フランス)
司会: 高橋良輔 (日本)議題1: パーキンソン病の異質性について
演者: コニー・マラス (カナダ)議題2: 遺伝性パーキンソン病において今後の治療にどう影響をもたらすのか?
演者: アンソニー・シャピラ (イギリス)議題3: パーキンソン病治療のための新しい治療
演者: オリバー・ラスコー (フランス)議題4: パーキンソン病遺伝子を持ちながら生きるとは?
演者: ベンジャミン・ステッチャー (カナダ)

コース目標: 1. 単独でのパーキンソン病バイオマーカーがない為、臨床分析や遺伝など様々な症状を認識する; 2. パーキンソン病特有の症状に作用する可能性のある、特定遺伝子による最新の研究を学ぶ; 3. より効果的な研究のためにパーキンソン病患者を細分化し (運動症状、非運動症状、振戦がメイン、拘縮がメイン、若年性など) グループ分けした上でさらに特化した研究やその研究の方法を学ぶ; 4. 神経疾患遺伝子を持ちながら生きる事がどのような事なのか、その事実により今後のライフプランから日常生活までどう影響するのか、臨床研究などに参加する事が今後の研究にどう役に立つのかなどの説明



昼食・ポスター発表 > 11:30 AM — 1:30 PM

特別講演 > 12:00 — 1:00 PM

TSL - SPECIAL LECTURE

パーキンソン病と上手に付き合う: その秘訣は?

司会: ラジャ・パワー (アメリカ)
パネリスト: オモトラ・トーマス (イギリス)
岡田 芳子 (日本)
エマ・ラートン (イギリス)
エリザベス・イルダ (デンマーク)
ベンジャミン・ステッチャー (カナダ)



PROVISIONAL PROGRAM

2019年6月6日、木曜日

DAY
2

ラウンドディスカッション > 1:30 — 3:00 PM

TRT1

テーブル1: 「若年発症性パーキンソン病との上手な付き合い方」
ティム・ヘイグ (カナダ)
通訳: 平井将隆

テーブル3: 「パーキンソン病は栄養素 (食物のみならず環境、社会性を含む) で緩和される証拠はあるのか?」
ローリー ミッシュェリー (アメリカ)
通訳: 津野 明美

ラウンドディスカッション > 3:30 — 5:00 PM

TRT2

テーブル2: パーキンソン病におけるiPS細胞の2019年における展望は?
高橋 淳 (日本)

テーブル3: パーキンソン病になる人を予測する
イザベル・アルヌルフ (フランス)
通訳: 中西令

テーブル4: パーキンソンに注ぐ光: 光遺伝学による大脳基底核の活動制御"
ステラ・パバ (アメリカ)
通訳: 池田桜

テーブル5: パーキンソン病における痛みに対する治療の探求と臨床試験
オム ジェオン (韓国)
通訳: 中川隆太郎

テーブル6: パーキンソン病の多様性—それが持つ意味と重要性—
コニー・マラス (カナダ)
通訳: 大島正義

テーブル7: 若年性パーキンソン病と共に生きる～楽観的にバランスよく仕事・子育てを乗り切る方法～
レベッカ・ミラー (アメリカ)
通訳: 岡本佳奈子

TWU - パネリストによる本日のまとめ > 5:15 — 6:30 PM

演者: セルジュ・プレズドスキー (アメリカ)

パネリスト: ティム・アンダーソン (ニュージーランド)、ロジャー・バーカー (イギリス)、
ジュリー・カーター (アメリカ)、アンソニー・シャピラ (イギリス)、キャロライン・スー (オーストラリア)



セッションのレベル

クロス・トーク
初級: 科学や医学の知識が余りなくても理解出来るレベル

中級: 科学や医学の知識がある程度必要

上級: 科学や医学の知識がないと理解出来ない

セッションの種類

基礎科学  臨床科学  総合ケア 

言語

英語から日本語への同時通訳  日本語トラック 

別途有料 

* マークには日本語でのサポートあり

PROVISIONAL PROGRAM

2019年6月7日、金曜日



最新トピック > 8:00 — 9:00 AM

TBD (based on submitted abstracts) : 未確定

アメリカン・パーキンソン病協会スポンサー



授賞式 > 9:00 — 9:30 AM

受賞者: TBA : 未確定



モーニングセミナー > 9:30 — 11:30 AM

FPL - PLENARY

パーキンソン病はただの脳の病気だけではない!



司会: 望月秀樹 (日本)
司会: TBD : 未確定

議題1: 新しい生き方: 様々な問題に対してどのように工夫しながら対応していくか
演者: ヘザー・ケネディ (アメリカ)

議題2: パーキンソン病における非運動症状問題について
演者: ジェフリー・コードワー (アメリカ)

議題3: パーキンソン病は「脳」以外の場所から始まっている?
演者: パー・ボーガマー (デンマーク)

議題4: パーキンソン病で起こる非運動症状問題に対する対処の仕方
演者: シェン・ヤン・リン (マレーシア)

コース目標: 1. 脳内ドーパミンにより起こる運動問題だけでなく、末梢神経系によるパーキンソン病の非運動症状問題を理解する; 2. パーキンソン病による非運動症状問題のまとめ; 3. 末梢神経系によるパーキンソン病非運動症状の問題に対しての現在の治療方法、現在処方されている運動機能系の治療薬に反発しない非運動症状による治療薬を理解する; 4. PDが脳以外の場所(腸や便秘)で発症しその後脳内へ進行するという研究に対する反対の意見なども理解する

昼食・ポスター発表 > 11:30 AM — 1:30 PM

特別講演 > 12:00 — 1:00 PM

FSL - SPECIAL LECTURE

Cellular reprogramming - What does it mean for the future of medicine?



司会: 水野美邦 (日本)
司会: 山中真也 (日本) - 2012年度のノーベル生理学・医学賞受賞者



セッションのレベル

クロス・トーク
初級: 科学や医学の知識が余りなくても理解出来るレベル
中級: 科学や医学の知識がある程度必要
上級: 科学や医学の知識がないと理解出来ない

セッションの種類

基礎科学
臨床科学
総合ケア

言語

英語から日本語への同時通訳
日本語トラック

別途有料

PROVISIONAL PROGRAM

2019年6月7日、金曜日



ラウンドディスカッション > 1:30 — 3:00 PM

FRT1

テーブル4: 臨床試験の代わりに実診療行為に基づくデータを使おう
バス ブルーム (ニュージーランド)
通訳: 上戸壽

テーブル5: それらのパーキンソン病発症との関連について
アーネスト アレナス (スウェーデン)
通訳: 山下真弥

テーブル7: 一病態生理の更なる理解への遺伝学が担う役割
ジョン・ハーディー (イギリス)
通訳: 大島正義

テーブル10: PINK1, Parkin, およびユビキチンシステム
松田憲之 (日本)

テーブル12: パーキンソン病特別総合病院を作るために、何から始めたらいいのか?
ジリアン・カーソン (カナダ)
通訳: 薬師川高明

ラウンドディスカッション > 3:30 — 5:00 PM

FRT2

テーブル1: パーキンソン病動物モデルでの大脳基底核ネットワークにおける電気信号異常について
南部篤 (日本)

テーブル5: パーキンソン病に有酸素運動は効果的なのか?
テリー・エリス (アメリカ)
通訳: 坂井 美穂

テーブル7: 免疫系の老化と、脳の健康及びパーキンソン病へのその関連
ヴィー・ウィー・ヨン (カナダ)
通訳: 斉藤成美

テーブル8: パーキンソン病における薬物治療および外科治療の進歩
大山 彦光 (日本)

テーブル9: 家族全体の問題としてのパーキンソン病~パーキンソン病患者とその家族の幸福を考える~
ジャスミン・スター (アメリカ)
通訳: 岡本佳奈子

テーブル10: パーキンソン病に対する音楽・ダンスの効果
メグ・モリス (オーストラリア)
通訳: 内藤惇

FWU - パネリストによる本日のまとめ > 5:15 — 6:15 PM

演者: ジョン・ストーシ (カナダ)

パネリスト: テッド・ダウソン (アメリカ)、ホアキン・フェレイラ (ポルトガル)、スザンヌ・シュナイダー (ドイツ)、アンネ・ハンド (イギリス)、服部信孝 (日本)



閉会式 > 6:30 — 7:00 PM

レセプション > 7:00 — 8:30 PM

セッションのレベル

クロス・トーク
初級: 科学や医学の知識が余りなくても理解出来るレベル
中級: 科学や医学の知識がある程度必要
上級: 科学や医学の知識がないと理解出来ない

セッションの種類

基礎科学
臨床科学
総合ケア

言語

英語から日本語への同時通訳
日本語トラック

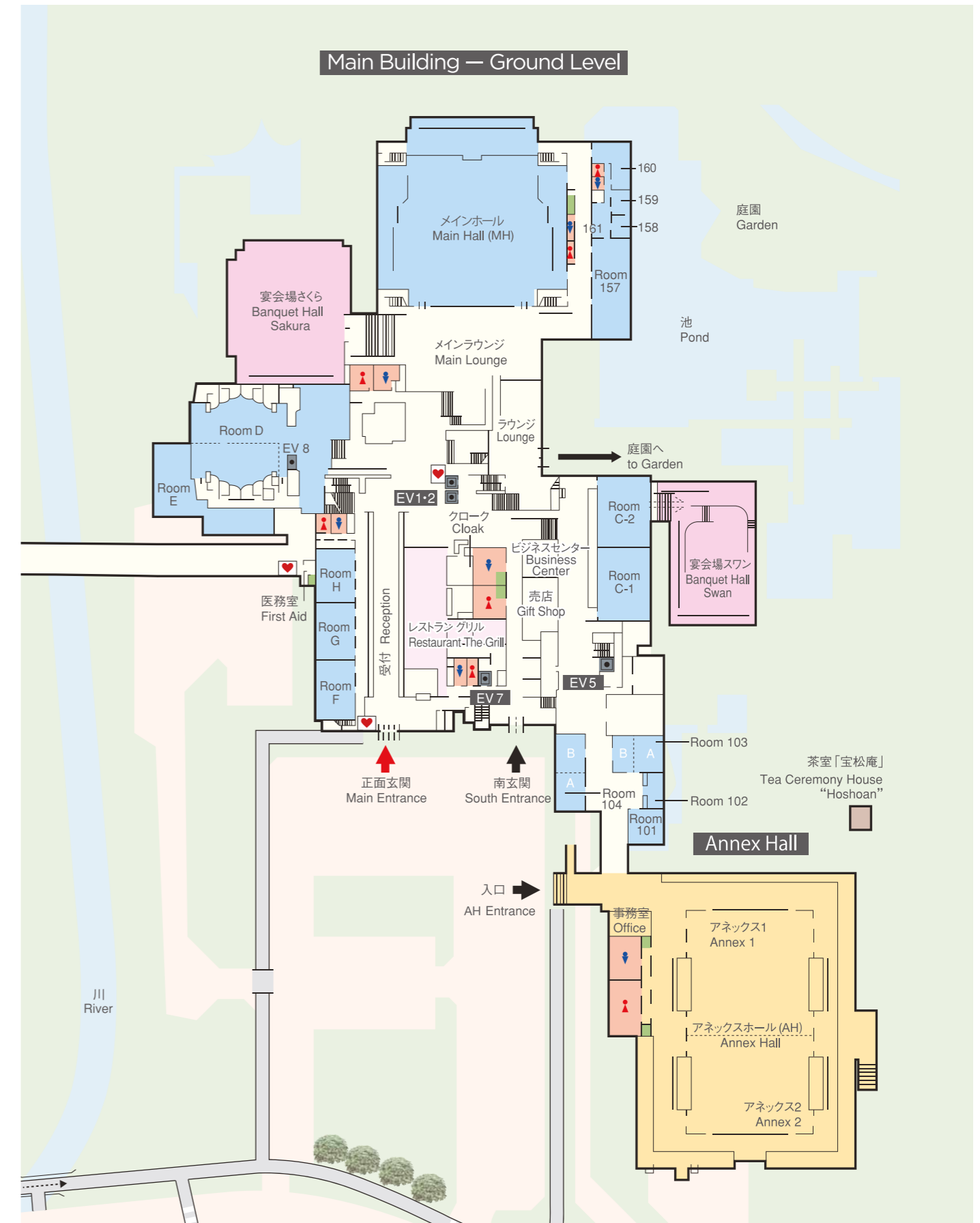
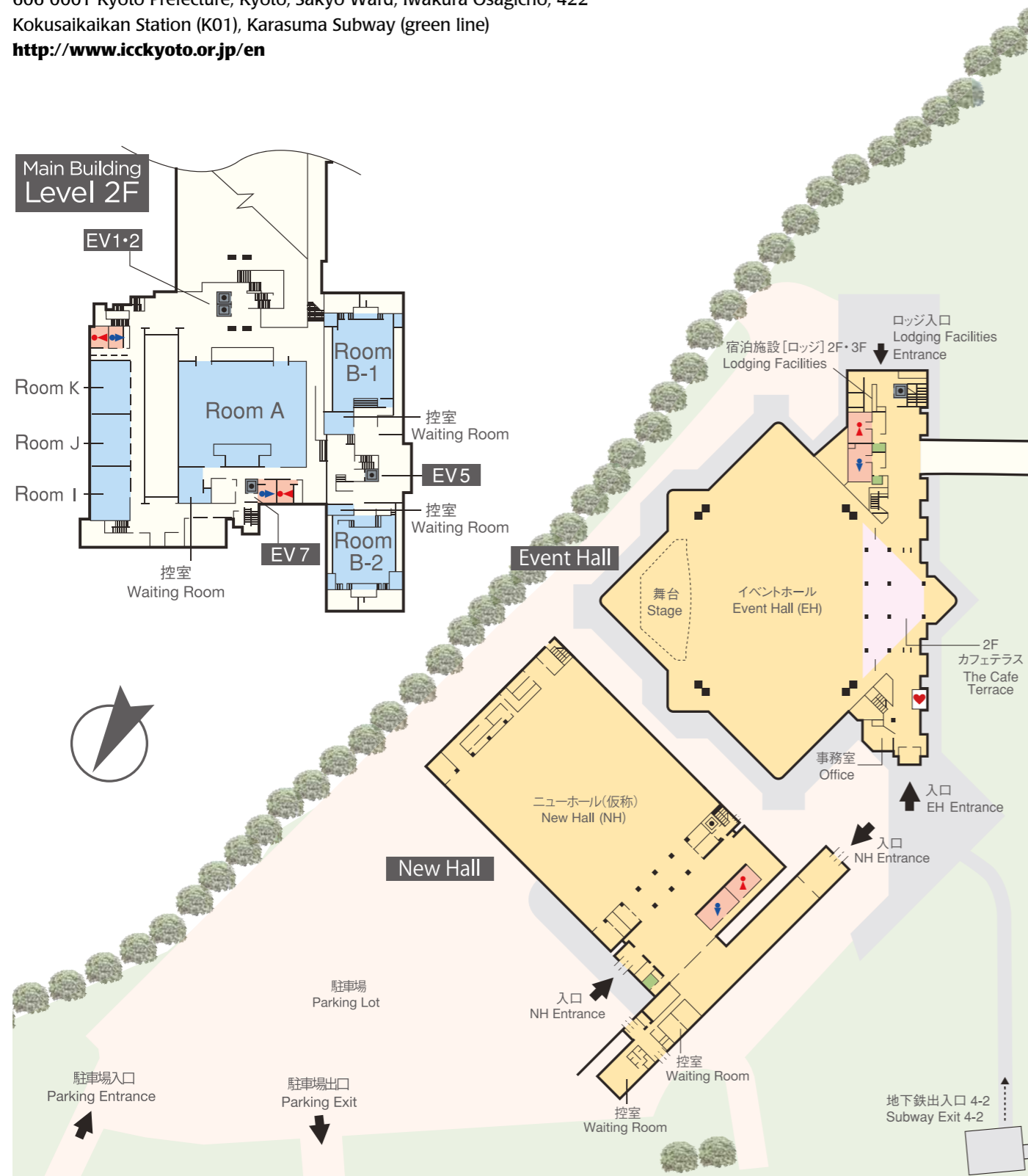
別途有料

* マークには日本語でのサポートあり

京都国際会館のフロアガイド

国立京都国際会館

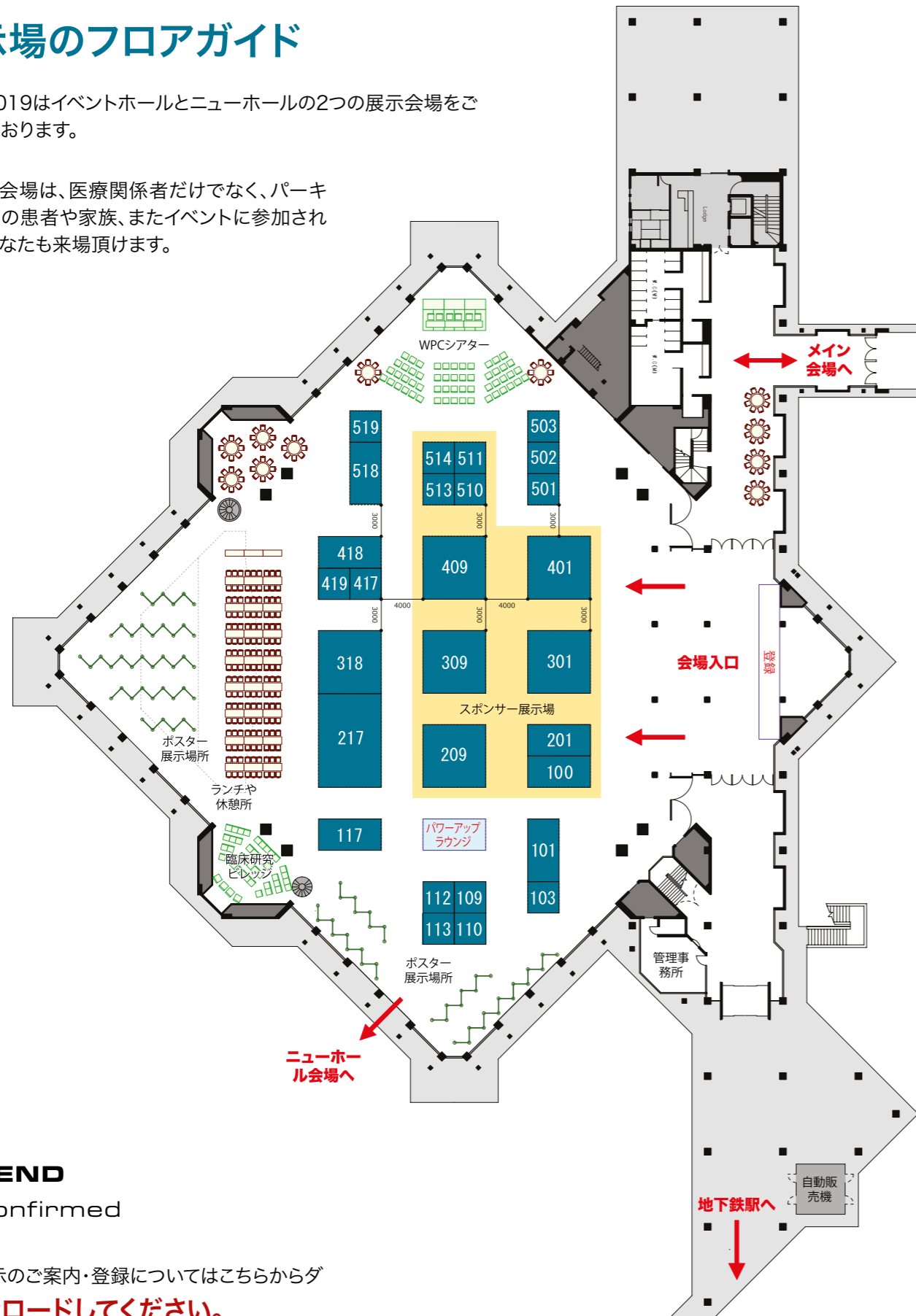
606-0001 Kyoto Prefecture, Kyoto, Sakyo Ward, Iwakura Osagicho, 422
Kokusaikaikan Station (K01), Karasuma Subway (green line)
<http://www.icckyo.or.jp/en>



展示場のフロアガイド

WPC 2019はイベントホールとニューホールの2つの展示会場をご用意しております。

イベント会場は、医療関係者だけでなく、パーキンソン病の患者や家族、またイベントに参加されているどなたも来場頂けます。

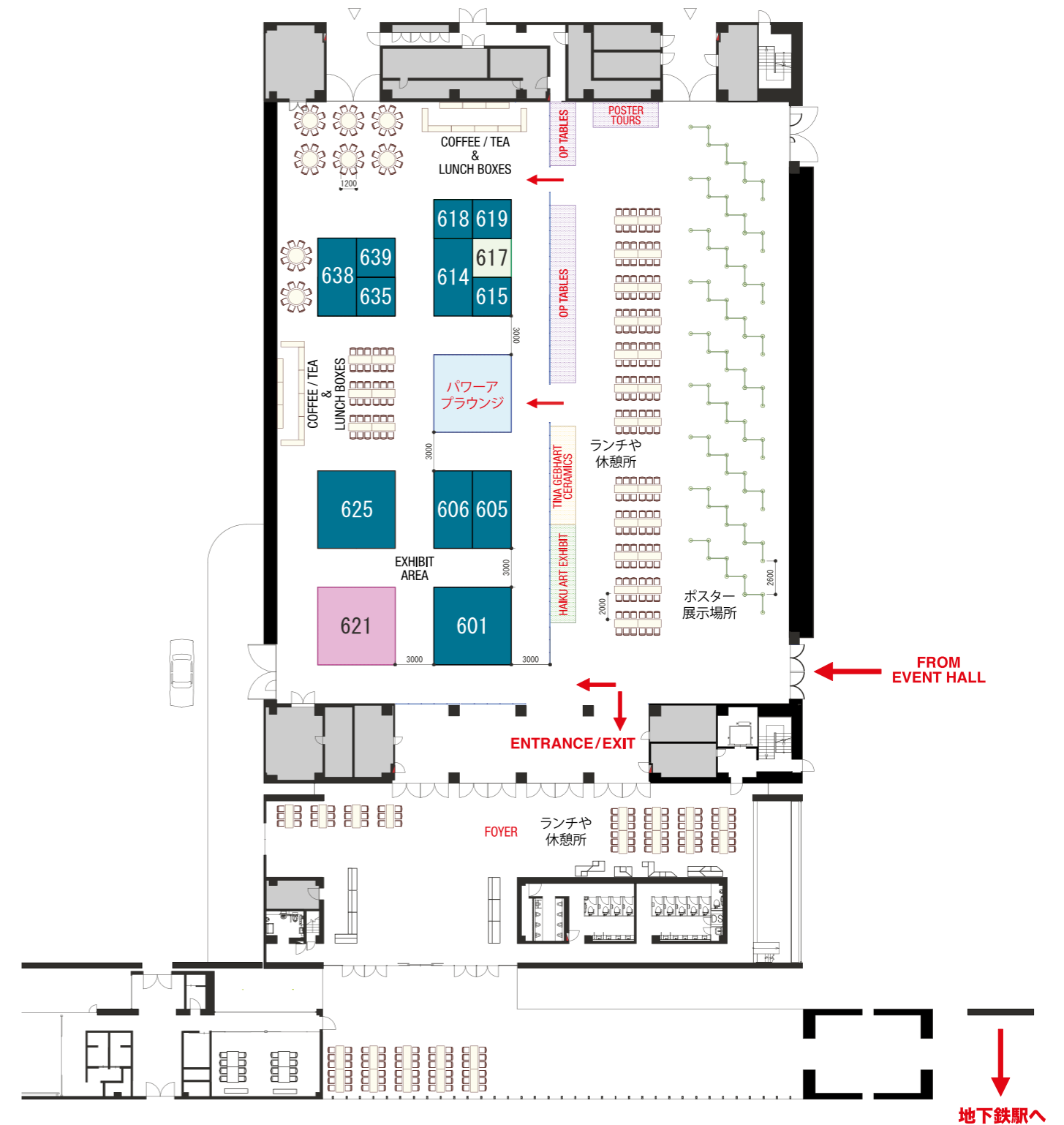


LEGEND

■ Confirmed

企業展示のご案内・登録についてはこちらからダウンロードしてください。

NEW HALL posters are open to all, but the exhibit area is designated solely for health professionals.



LEGEND

■ Confirmed

登録

登録方法

登録はインターネットまたは登録用紙ダウンロードによる郵送となります。

注意: 郵送登録フォームには、12米ドルの手数料がかかります。

登録料

価格はすべて米ドル (\$ US) です。

登録カテゴリー	早期割引	通常価格	直前登録費 ⁵
	2019年2月27日まで	2019年2月28日から5月20日まで	2019年5月21日から6月7日まで
Physicians, Clinical Researcher, Scientist ¹	\$625.00	\$750.00	\$1,000.00
Pharmaceutical Industry members	\$625.00	\$750.00	\$1,000.00
Nurse/ Physical Therapist/ Speech Language Pathologist/ Occupational Therapist/ Social Worker/ Non-Profit	\$425.00	\$550.00	\$800.00
Student/ Post Doc ²	\$300.00	\$350.00	\$600.00
Person with Parkinson	\$300.00	\$350.00	\$600.00
Caregiver	\$300.00	\$350.00	\$600.00
Caregiver (with PwP who has registered) ³	\$200.00	\$250.00	\$500.00
Accompanying Person ⁴	\$150.00	\$150.00	\$150.00

1. パーキンソン病患者で医療関係者でCMEまたはCEU単位を取得したい場合には、パーキンソン病患者としてではなく医療従事者として登録する必要があります。

2. 学生登録する場合は、学校が発行した署名入りの学生証明書もしくは学生証の提示が必要となります。

3. 介護者はすべてのセミナーやセッションに参加できます。介護者割引は、パーキンソン病患者に同伴する場合にのみ適用されますので、介護者の方のみでの参加の場合は適応されません。

4. パーキンソン病患者の同伴者として登録された場合は、歓迎レセプション、開会式と閉会式だけのアクセスとなります。

5. 直前登録費は登録待ちの状態でご各カテゴリーでキャンセルや空きが出来た時にのみ発生する料金です。

登録制限

WPCでは登録人数に制限を設けていますのでご注意ください。出来るだけ安全に快適な教育経験をして頂くためにも、定員に達した場合は登録を締め切ります。定員の数が限られていますので、興味のある方は出来るだけ早めに登録する事をお勧めします。

本登録と学生登録に含まれる内容

- 全セミナーセッション、同時セッション、ワークショップ、ラウンドディスカッションへの参加
- ポスターセッションへの参加
- 展示会場へのアクセス
- 学会の資料
- プログラムパンフレットとデジタル要約書
- ランチ
- 開会式とウェルカムレセプション

注意: プレコンGRESに参加の場合は別途コース費用が掛かります。継続教育プログラム費用も含まれています。

キャンセルポリシーについて

登録取消を希望される場合は必ず書面でご連絡ください。払い戻し手続きは学会終了後に行います。

■ 2019年5月12日まで: 登録料から管理費\$75.00を差し引いた額を払い戻します。払い戻しを行う場合は一律管理費\$75.00を差し引きます。

■ 2019年5月13日以降: 登録料の払い戻しはできません。

キャンセル手続き先

WPC Congress Secretariat – JPdL

secretariat@wordpdcoalition.org – Fax: 06-6229-2556 – 電話: 06-6229-2561

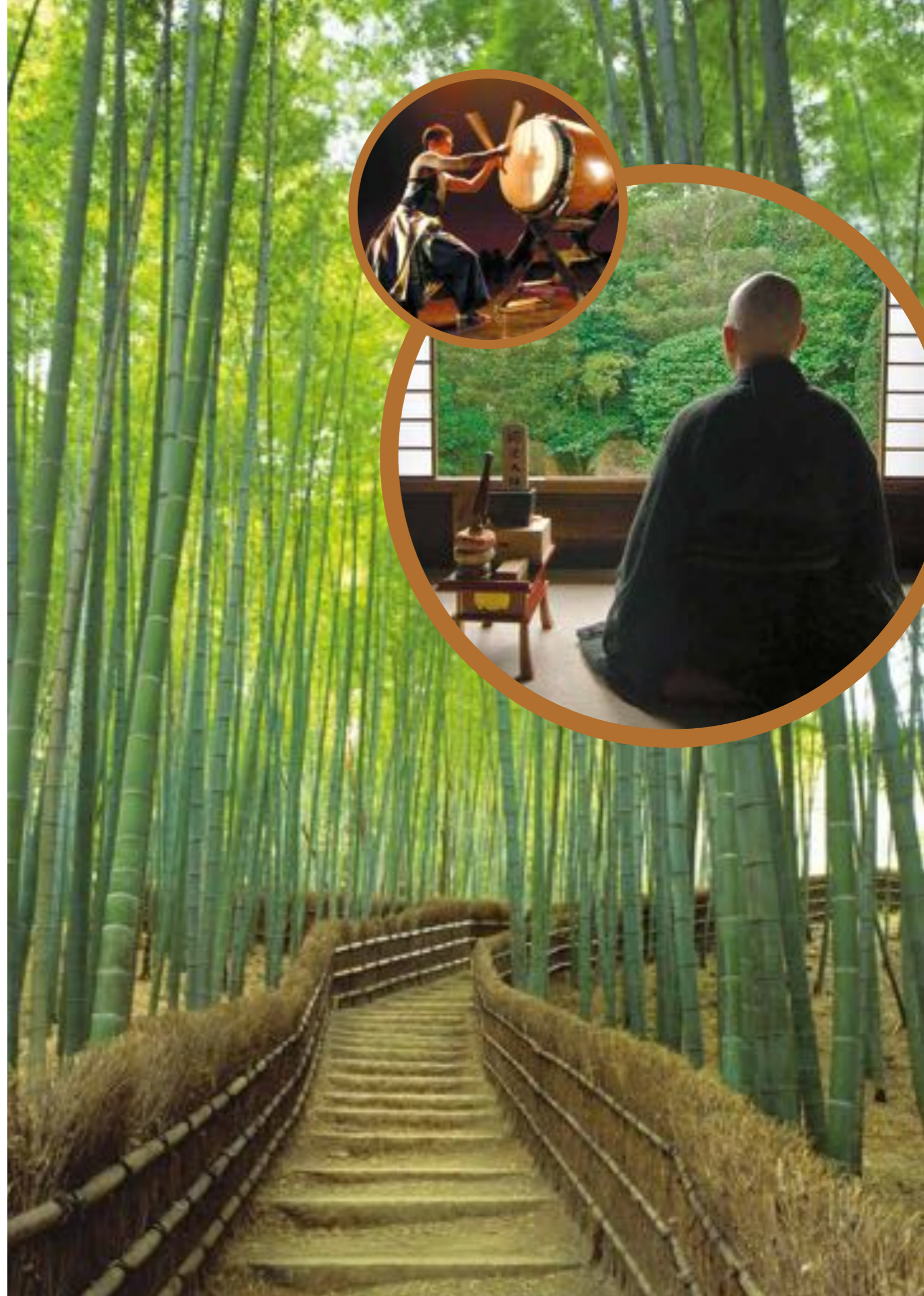
免責事項

プログラム通りに進むように最善の努力を尽くしますが、会場の都合などにより事務局がスケジュールの変更などを行う場合があります。事務局はそのような場合において生じた損失の責任を負いません。学会がキャンセルされた場合は、前払いした料金全額が返金されます。ただし、議会の主催者およびその代理人は、そのような取消の結果として生じたいかなる損失または不都合についても責任を負いません。議会は予約の取り消し、盗難または持ち物への損害に対して個人を対象としていないため、参加者は個人の旅行保険に加入したり、適切な対応を取りましょう。



Autre grande photo
que je positionnerais
en C2.

Il faudrait donc que je
décalle toutes les pages
jusqu'ici...





www.worldpdcoalition.org

WPC 2019をご支援いただきありがとうございます。
ございます。



お問合せ先

WPC Congress Secretariat – JPdL International

1555 Peel Street, Suite 500, Montréal, QC H3A 3L8, Canada

電話: 06-6229-2561 – Fax: 06-6229-2556

secretariat@worldpdcoalition.org